



県立大間高等学校

巻頭対論 小林

R6.12.12

みなさん、体調はいかがですか。困っていることはありませんか。

12月師走となり、令和5年のほけんだよりは最後となります。8月から食について連載してきましたが、一度“食”はお休みして、年明けに再開予定です。

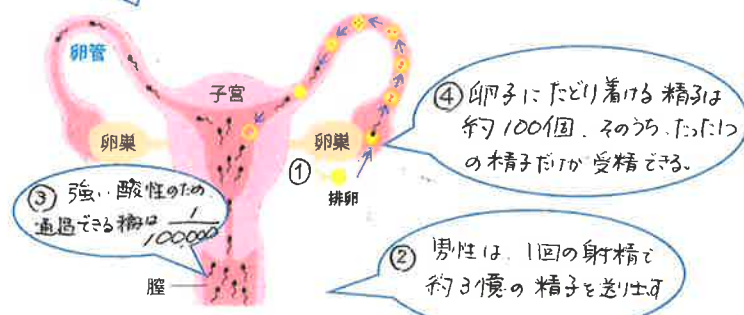
さて、小林より報告があります。この度、子を授かり、令和6年6月に出産“予定”です。こればかりは、天のみぞ知る領域なので、無事に育つか、誕生するか、分かりません。ですが、日中の家族のようなみなさんには、体調が変化していること（例えば、じんも体も鈍くなる、思考のスピードが遅くなるなど）、お休みの機会が増えることをお知らせしたいと思い、このおたよりを作成しました。遠慮や配慮は必要ないので、これまで通り、年度末（令和6年3月）まで？、どうぞ、よろしくお願いいたします。



この機会に、**命の奇跡**について、少し紹介しますね。

- ①月に一度、女性の卵巣は、一つの卵子を卵管に送り出します。卵子の生存期間は、たったの24時間。
- ②一方、男性の精巣は、一回の射精で、約3億の精子を送り出します。一斉に卵子に向かっていきます。
- ③しかし、女性の膣は、強い酸性であり、卵管にたどり着ける精子は約数千個。
- ④そして、卵子にたどり着ける精子は、約100個といわれています。そのうち、たった一つの精子だけが、卵子と受精できるのです。

③ 卵管にたどり着ける精子は 数千個



あなたが今生きているのは、

約3億から生み出した一つの精子が、卵子が送り出されてから24時間以内にたどり着いた奇跡。

そして、育ち、誕生できた奇跡、の積み重ねの結果なのです。

一人一人、生きていること自体が、奇跡の連続で、かけがえのない、大切な存在です。“いる”だけで、尊いことであり、それは“条件なし”です。

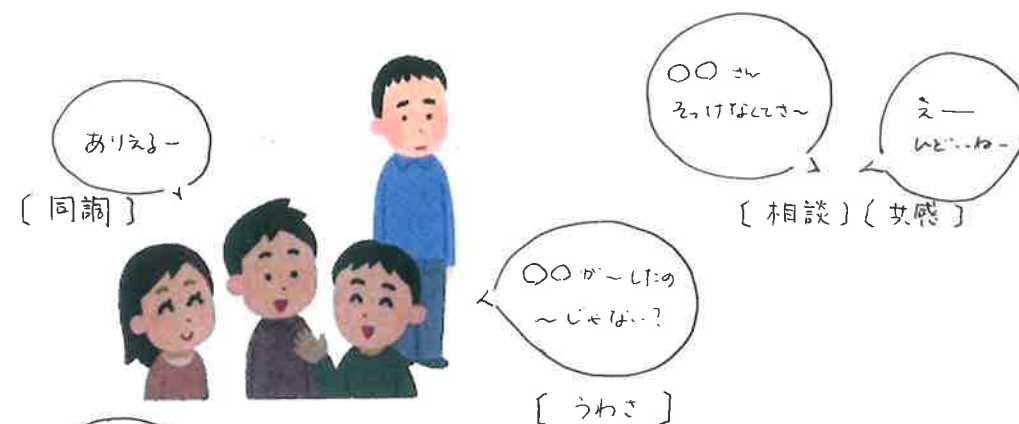
（いい子“だから”、やさしい“から”、頭がいい“から”、人気があ“から”、スポーツができる“から”、おもしろい“から”、敬われるという条件つきは、人としての敬意があるとはいえないと思うのです。）

それでも、不安になることはあるでしょう。そんなときは、

「あなたは 条件なしで いるだけで 尊い存在である」ことを

思い出してほしい。それでも不安だったら、何度でも伝えさせてください。

自分のすべきことは、自他との最良の別れにむかって、最善の道を歩むのみ。



その言葉

だれのため？

無意識に自分アピール、発散になってない？相手の事情きいた？相手のことも規定して？

なんのため？

根本の解決にむかって？

人
いじから相手を想った言葉であれば、言葉を使い続けると、その人という突然どうなっても後悔しないものです。人生、一度きり。気付いた時が始め時です。

さて、もうすぐ 冬休み。

今年はどんな年でしたか。また、来年はどんな年にしたいですか。

一日の終わりに、一つでも、たのしか、たこと、うれしか、たことに気付ければ、そのことに、意識を集中させることができる。その日は、いい一日になります。そんな日々に、そんな月々に、そんな年にしたいです。（小林抱負）

良いお年をお迎え下さい

